

野田市の郷土史研究誌を頒布

～『野田市史研究』第36号を刊行～

野田市史編さん委員会(委員長＝鈴木市長)は、市史編さん事業の最新の成果をまとめた郷土史研究誌『野田市史研究』(第36号)を刊行し、有償頒布を開始した。

【収録内容】

口絵写真 鈴木貫太郎記念館所蔵 鈴木タカ画 牡丹(絹帯地)

終戦時内閣総理大臣鈴木貫太郎翁の妻で昭和天皇の養育掛を務めたタカ夫人の描いた牡丹の絵。絹帯地に描かれた貴重な作品を紹介。

巻頭雑感 「新たな登録有形文化財(建造物)の登録に寄せて」

柏女 弘道(野田市郷土博物館 館長)

「旧茂木佐平治家住宅金宝殿本社」など令和7年度に国登録有形文化財に登録された歴史的建造物を紹介したコラム。

補遺 『野田市史 資料編 古代・中世1』補遺5」

野田市史編さん委員会古代・中世部会

宗教関係史料として曹洞宗寺院を取り上げ、かつて閑宿に所在した総寧寺を中心とした史料57点を収録した資料紹介。

研究論文 「鬼怒川筋荷物と木野崎河岸 ― 伊勢屋太郎兵衛家の活動を中心に ―」

吉田 ゆり子(野田市史編さん委員会 近世部会専門委員)

野州(現栃木県)の木材荷物を中継し江戸問屋に送った木野崎河岸の河岸問屋伊勢屋の業態と盛衰を明らかにした論考。(令和8年1月31日の市史講演会の内容を詳細に掲載)

研究論文 「東京電気鉄道・武総鉄道・北武電気鉄道・大東京鉄道による東京直通鉄道の計画と挫折」

坂口 誠(野田市史編さん委員会 近現代部会専門委員)

野田町を起点・終点とした大正末期から昭和初期の東京直通鉄道の計画と挫折を取り上げた論考。

【体裁】 A5版、164頁

【頒布価格・部数】 480円(税込)・100部

【頒布場所】 市役所市史編さん担当、市内各図書館、郷土博物館

問合せ＝総務部 市史編さん担当 直通 04-7125-7802

代表 04-7125-1111(内線3220)

野 田 市